

CONTENTS

岡山の病院力  
新任医師のお知らせ  
編集後記  
コンシェルジュ日記

# 情報発信 ステーション

財団法人医療機能評価機構認定病院  
財団法人日本病院会 人間ドック・  
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

## 金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63  
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917  
http://www.kaneda-hp.com

### 金田 道弘院長



## 拠点的役割担い体制強化

確保している。救急搬送は年七百弱と真庭、新見市の医療機関で最も多い。看護師、診療放射線技師、臨床検査技師などの応援協力も万全だ。岡山県北の医療充実の期待を担い四月以降、常勤医師三

金田病院は、一九五一年に創立した特定医療法人の病院。ベッド数百七十七床の中規模病院ながら、大病院の多い岡山、倉敷などの都市部と異なり、真庭市を中心に新見市も

## 岡山の 病院力

ホームページ  
「岡山の病院力」

<http://iryosanyo.oni.co.jp>

岡山県内の主な病院が取り組む重点的な治療、専門医療、得意分野を紹介する山陽新聞の「岡山の病院力」に、当院が掲載されました。今回の「情報発信ステーション」では、その内容を皆さまにご紹介いたします。



### 特定医療法人緑社会 理念

奉仕  
仁愛  
誠実  
研鑽  
調和

### 金田病院 理念

- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

### 基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づいた公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者の皆様の選択に基づいて行います。



## 岡山の 病院力

ホームページ  
「岡山の病院力」

<http://iryu.sanyo.oni.co.jp>

がん治療で手術、放射線治療と並ぶ柱が抗がん剤による化学療法。内科の海野正俊医長は四月、そのエキスパートである日本臨床腫瘍(しゅ)病院や愛媛県の病院などをへて

### がん化学療法

#### 海野 正俊内科医長

二〇〇三年から金田病院勤務。悪性リンパ腫、白血病など血液のがん、胃、大腸など消化器がんの手術後や再発時、進行肺がんなど、これまで約百二十例の化学療法を手掛けた。同病院ではがんのほか、再生不

治療もやっている。海野医長は「今後も標準と認められたがん治療を提供したい」と話している。

### 県北で初めての専門医

すべての治療の基礎となる栄養支援のチーム医療やがんの化学療法、お年寄りに多い骨折の治療に力を入れ、病院食などアメニティーも充実している。

## 患者受け入れ迅速化

「左の手足がしびれて動かない」。新見市の八十代男性が二月中旬、救急車で金田病院に運ばれてきた。二時間前に自宅で異変を感じたという。救急車でいった同市内の病院で専門的治療が必要とされ搬送されてきた。

脳神経外科の遠部英昭副院長と木下公久医長は診察やMRI(磁気共鳴画像装置)検査の結果、脳の血管が血の塊(血栓)で詰まる脳梗塞と診断。病院到着から五十分後には血栓を溶かす薬・tPAを注射で投与し始めた。症状は次第に回復

男性はリハビリ後の三月下旬、軽いまひは残ったが、自分の足で歩いて退院できた。

真庭市で唯一、脳神経外科医が二人常勤する同病院。年三十四十人を超える救急搬入の脳梗塞患者の受け入れ体制を昨年充実、整備。今年七月に岡山県保健医療計画で脳出血、くも膜下出血を合わせた脳卒中の超急性期の専門的な診療が二十四時間可能な医療機関に位置づけられた。こうした病院がない新見市からの受診も多い。

きっかけは二〇〇五年、積極

的な治療法が乏しかった脳梗塞でtPAに健康保険が適用されたこと。ただ、発症から時間がたつて使うと脳出血の副作用を招く恐れがあり、投与は発症三時間以内に限られる。治療の迅速化が急務となった。

夜間や休日は救急搬送の連絡を受けた看護師が当直医の判断を待たず遠部副院長、木下医長や検査スタッフを呼び出すなど患者到着前に脳卒中チームがそろう体制を整えた。さらに、救急総括医長を兼ねる木下医師が真庭、新見市消防本部で勉強会を重ね、速やかな搬

### 栄養サポートチーム



カンファレンスで情報を交換する三村医長(左から2人目)ら栄養サポートチームのメンバー

食事が減った、食べ物がのみ込みにくい。そんな患者の栄養面の課題に、職種を超えて情報と知識を出し合い最良の支援を探るのが栄養サポートチーム(NST)だ。メンバーは医師、看護師、管理栄養士、

# 金田病院

## 整形外科

坂田 賢一郎 医長



金田病院の昨年度手術のうち、半数以上の二百一件を占めたのが整形外科。それを坂田賢一郎医長はほぼ一人で執刀している。

岡山大 卒業後、香川労災、岡山市民病院などを経て二〇〇六

富。昨年度も大腿（だいたい）骨などの骨折修復手術が百四件を占めた。患者の体の負担が軽い関節鏡による半月板損傷手術も

はもちろん、手術後よりハビリティーション科と連携し早期からの機能訓練を心掛け、寝たきりを防いでいる」と話している。

## 昨年度201件の手術執刀

年から金田病院勤務。外来診療の傍ら、週四日手術を行う。特に骨折など外傷治療の経験が豊

十六件行った。骨折の患者はお年寄りが多い。坂田医長は「安全、迅速な手術

入院患者の床ずれ発生率は1%以下に抑えられ、長期入院のお年寄りが多い医療療養病棟（四十七床）でも最近三年間、床ずれの発症がないという。がん患者らが対象の緩和ケアや救急医療のチームも発足。三村医長は「チーム医療は今や医療の質を高めるために欠かせない。NSTが軌道に乗ったことで職種を超えた協力的体制ができた」と話している。

（山陽新聞より抜粋）

金田病院は市の中核医療機関。年間の外来患者は延べ6万7500人、入院は6万200人に上る。最近は、発症間もない急性期の脳梗塞（こうそく）治療をはじめ、

患者のMRI画像を検査スタッフと検討する木下医長（左端）と遠部副院長（右端）



## tPA投与増え効果

送を呼び掛けた。その結果、救急搬送された患者のうち、発症二時間以内の来院が半数近くに達し、搬入から治療開始までも一時間以内に短縮。患者の5・0%だけだったtPAの使用は28・0%に増えた。これまで投与した十八人のうち、五人はほぼ症状がなくなるまで劇的に回復。四人は軽いまひが残ったが、介助なしで日常生活を送れている。九人は寝たきりなど重い障害が残ったものの、「亡くなり、副作用の出た患者はいない」と遠部副院長は効果を説明。「地域向け啓発活動を今後、さらに広げたい」と語っている。

薬剤師、臨床検査技師、理学療法士の二十人余。体重の増減、えん下（のみ込み）障害の有無などを看護師が評価する簡易栄養スクリーニングで栄養不良かその恐れがある患者十人前後を対象に、二週間おきのカンファレンスで意見を交わす。

## 職種を超え協力

「補助食品で栄養を補う」「食事にとろみをつける」など検討結果は主治医に提案。チームでも対象患者を回診し、栄養状態と関係が深い床ずれやえん下をチェックする。二〇〇五年の開始から三年半で約七百人の患者にかかわった。日本静脈経腸栄養学会のNST稼働施設にも認定。チームを束ねる三村卓司・外科医長は「栄養は医療の基礎。栄養を重視することで床ずれ改善、手術後の早期離床・回復が図れた症例をいくつも経験した」と成果を挙げる。



# 岡山の 病院力



ホームページ  
「岡山の病院力」

<http://iryu.sanyo.oni.co.jp>

病院のセールスポイントの一つが食事。蒜山おこわ、ちらしずし、ビビンバ、魚の煮付け、肉じゃが…。バラエティーに富んだ味は入院患者に人気だ。

スタッフは栄養士三人と調理師十人、調理員四人。献立は毎月一回、栄養士と調理主任が集まり、伝来のレシピを参考に減塩など工夫を加え考える。

## 人気の病院食

患者食（普通食）と職員食は同じメニューで患者、職員の意見を取り入れている。治療食は、のみ込みが難しい人にはおかずを刻み、スープにとろみを加えるなど一人一人の病状に配慮。誕生日

## バラエティーに富む味

には手作りのメッセージカードも添えている。「主婦が家族に作るような家庭の味を目指している」と管理栄養士の妹尾富美子・栄養課長。患者の入院、退院時は病室で栄養指導も担い「今後は地域にも情報発信したい」と張り切っている。



妹尾 富美子 課長

## 細かい心配り好評

「こんにちは」。病院に入ると、カウンターから優しく声を掛けるのがコンシェルジュの細田麻衣子さんだ。

コンシェルジュはフランス語で相談役やお客さま係の意味。もともとホテルで活躍していたが、最近では病院も配置し始めた。元保育士の細田さんは二〇〇五年に金田病院初のコンシェルジュに採用。今夏、民間資格のホスピタルコンシェルジュに認定された。

普段は外来フロアで患者を案内したり問い合わせに應じる。病院広報紙やホームページに「コンシェルジュ日記」も連載。最近では、退院する患者に病院への要望を聞き担当者に伝える役も担う。

足の不自由な患者が来院する際は事前に車いすを用意するなど、細かい心配りは患者に好評。医療関係者にも注目され、真庭、倉敷市や東京都、石川県の病院、高校などで講演した。細田さんは「患者と同じ目線での対応を心掛け、安心と感動を届けたい」と目を輝かせている。



細田 麻衣子さん  
(山陽新聞より抜粋)

## 内科

### 新任医師のお知らせ

10月1日より

藤井詩子医師の異動に伴い

樋口千草医師が

新任医師として

着任いたしました

## 編集後記

山陽新聞「岡山の病院力」に掲載されたことで、これほど多くの方からお声をかけていただけたとは思っていませんでした。皆さまからいただいたお言葉は私たちスタッフにとって大きな励みとなりました。広報の重要性も改めて学ぶことができました。金田病院「情報発信ステーション」は、地域の皆さまへの情報誌としてご愛読いただけますよう、今後も一層努力してまいります。

地域医療連携室長  
社会福祉士  
田中 聖隆  
経営企画室主任  
有本 紀子  
電算室主任  
長田 寛子

# コンシエルジュ日記

山陽新聞「岡山の病院力」に掲載されて

事務部 コンシエルジュ

細田 麻衣子



9月30日付の山陽新聞「岡山の病院力」に当院が掲載されました。金田病院の取り組みが具体的に紹介されたことで、記事をご覧になった多くの皆さまから感想を頂戴しました。今回は、皆さまのお声と共に感じたことや学んだことをご紹介します。

医療の知識を持つておくことで家族を助けられる可能性があることがわかりました。良い意味で病気を身近に考えるきっかけになり

■ 通院していて感じることで、新聞を読んで受ける感じは違うなあ

：と思います。それは、差がある」という意味ではなくて、普段通院している時は気づくことはありませんでした。救急の流れや手術の件数、患者の目には見えないうチーム医療など、新聞を読んでみて本当の意味で安心できると感じました。

■ 救急や脳梗塞のことは、以前金田病院の情報発信ステーションを読んで知っていましたが、地元にも専門の先生がいることがわかりとても安心できました。

■ 具体的な数字や専門的な医療は私たちには見えにくい部分です。この記事を読んで初めて知ることばかりでした。

たくさんさんの取り組みや努力があつて私たちが支えられていることがよくわかりました。今まで以

上に信頼できました。

■ 医学の進歩にも驚きますが、それらの最新の技術を積極的に取り入れ、さらにコンシエルジュという患者の心の部分を満たすための努力をされていることにも驚きました。

掲載された当日の朝、「山陽新聞、読んだよ。いつも頼りにしているから頑張つてえな。」と来院なさった方が声をかけてくださり、その反響の大きさに驚きました。記事をお読みいただいたこと、ご感想を届けてくださったこと、そして多くの皆さまが金田病院に関心を持ってくださっていることを知り、本当にありがたく思いました。

これからも真心をこめた対応を大切にし、コンシエルジュとして皆さまのご期待にお応えできるようになりたいと、心から思いました。

	診療時間	月	火	水	木	金	土 第4休診
内科	午前 9:00~12:00	① 川西 ② 海野 ③ 鎌尾	① 川西 ② 海野 ③ 杉山	① 川西 ② 1・3・5週 鎌尾 2・4週 海野 ③ 1・3・5週 木村 2・4週 樋口	① 川西 ② 鎌尾 ③ 高島	① 川西 ② 海野 ③ 古賀 (10:30より)	① 海野(10:30まで) 木村(10:30より) ② 鎌尾(10:30まで) 樋口(10:30より) ③ 古賀
	午後 2:00~5:30	杉山	① 鎌尾 ② 杉山 (3:30より)	① 越智 ② 高島 ③ 水島(消化器) (4:30より)	樋口	古賀	
循環器内科	午前 9:00~12:00	溝口			重歳		木村英夫
呼吸器内科	午前 9:00~12:00 午後 2:00~5:00						担当医 (午後・第4土曜も診療)
糖尿病内科	午前 9:00~12:00					木村友彦	
	午後 2:00~5:30	木村友彦					
神経内科	午後 2:00~5:30			深井			
腎臓内科・透析科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~4:00					浪越	
泌尿器科	午後	担当医 (2:00~5:00)			木村高博 (2:30~5:30)		
外科	午前 9:00~12:00	① 松本 ② 五味	担当医	三村卓司	五味	金田	担当医
	午後 2:00~5:30	金田 (甲状腺)	担当医	担当医	三村卓司	松本 (乳腺)	
脳神経外科 (脳・脊髄)	午前 9:00~12:00	遠部	木下	遠部	木下	遠部	遠部
	午後 2:00~5:30	木下	遠部	木下	手術	木下 (脊椎・脊髄)	
整形外科	午前 9:00~12:00	坂田	坂田	/	手術	坂田	坂田 (10:30まで)
	午後	手術	手術		手術	手術	
リハビリ テーション科	午前 9:00~12:00			文野			
麻酔科 (疼痛外来)	午前 9:30~11:00		森谷				
	午後		麻酔	麻酔	麻酔		
眼科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~4:00					守本	
皮膚科	午前 9:00~12:00				三村茂		
リウマチ外来	毎月1回、詳細はお問い合わせください						
救急の場合	日曜、休日を問わず24時間体制で 0867-52-1191 で受け付けます						

外来診療の受付は  
こちらへどうぞ



# 0120-52-56-52

川崎医科大学 附属病院 研修医	放射線科	皮膚科	リハビリ テーション科	眼科	泌尿器科	麻酔科 (疼痛外来)	救急総括	整形外科	脳神経外科	外科	内科																					
12月・11月	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	医長	医長	診療部長	医長	診療部長																					
竹原延治	高島茂	三村茂	文野喬	守本典子	非常勤	荒木元朗	木村高博	森谷実佳	木下公久	坂田賢一郎	遠部英昭	村上陽昭	東田正陽	佐藤慎也	五味卓司	三村弘	松本道	金田道	越智正豪	重歳尚	深井雄	杉山光	古賀喜八	溝口博	浪越英夫	木村孝	水島明	樋口千草	木村友彦	鎌尾高行	海野正俊	川西正泰

診療担当医